



平成22年度事務事業カルテ

				会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )				
事業名		ふくいの農畜産物安全・安心促進事業		含まれる事業数		4				
福井新元氣宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]		所属		農林水産部 食の安全安心 課 食料安全 G <input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 21年度 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 経過年数 事業終了 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他 開年 業始年度 予定年度 2年 23年度 事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
[事業目的] 消費者が求める食の安全性・信頼性の確保に応え、安心して本県農産物を選択してもらえるようにするため、食品安全GAP（生産工程管理）のレベル向上や残留農薬検査実施により生産管理体制を強化するとともに、消費者に対して生産取り組みに関する情報提供の充実を図る。										
[事業内容] 1 県推進事業 （1）県推進方策の検討とGAP向上の具体的検討 （2）研修会の開催による人材の育成 （3）消費者と生産者との地区別交流会の開催 2 残留農薬検査の実施 GAPに取り組んでいる品目の残留農薬検査の実施に対する支援 3 食ネットの運営 4 安全安心情報の消費者への提供 包装資材への安全安心情報（QRコード等）の印刷に対する支援										
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)										
区分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移					20,377	15,215	-25.3%			
2月現計予算額の推移					20,166	15,215	-24.6%			
決算額の推移					18,624					
事業効果 の推移	活動指標	GAP指導者の育成人数			52	76	46.2%		I	
	成果指標	残留農薬検査を実施するJA数			15	15	0.0%	平成22年度：15JA	II	
	指標	安全安心情報を記載する農産物数			176	185	5.1%		I	
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]						
区分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況			特記事項			
予算額 (単位：千円)		15,215		22年度から食ネットによる流通情報等の提供を見直し、個別識別情報・生産情報に限定して提供			国も「食品安全のためのGAP」策定・普及マニュアルを作成し、推進している。			
財源内訳	国庫		2,149							
	その他特定財源									
	一般財源		13,066							
[事業の評価]										
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 食品安全GAPに関する認識向上が図られ、産地での取組が進み、実践生産者数の割合も着実に伸びている。 「あんしんふくいの食ネット」の普及を幅広く行っており、携帯電話を利用した情報開示や各JAのHPでの情報公開も着実に増加している。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 安全で安心できる県産農産物を提供する体制を構築するためには、生産団体の食品安全GAPの質的向上や残留農薬対策等の強化に引き続き取り組む必要がある。 また、消費者が県産農畜産物を安心して購入できるようにするため、消費者に信頼される生産履歴情報の提供について充実を図っていく必要がある。				評価に 基づく 今後の 対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	千 円	
	<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了							
	<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他							
	<input type="checkbox"/> 見直し額									

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )					
				所 属	農林水産 部 食の安全安心 課		食料安全 G			
事業名	JAS法に基づく食品表示適正化環境整備事業	含まれる事業数	1	事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 18年度 経過年数 5年	事業終了 予定年度 23年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
福井新元氣宣言における位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]									
[事業目的]										
県内の食品販売業者や食品製造業者におけるJAS法に基づく食品表示の適正化を図る。また、事業者および消費者に対する食品表示制度の普及を図る。										
[事業内容]										
1 食品表示ウォッチャーを活用した監視 … 消費者100名 2 事業者および消費者に対する食品表示制度等の普及 (1) 事業者に対する食品表示制度の普及 ①食品事業者等が実施する食品表示研修会への講師(県職員)派遣 ②食品表示研修会の開催 (2) 消費者に対する食品表示の見方など食の安全安心に関する講座の開催										
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)										
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等		
当初予算額の推移		2,323	2,299	2,307	2,491	1,992	-3.2%	結果分類		
2月現計予算額の推移		2,323	2,299	2,307	2,491	1,992	-3.2%			
決算額の推移		2,323	2,297	2,273	2,408		1.3%			
事業効果 の推移	活動 調査店舗数	652	762	684	438	360	-11.8%	IV		
	指標 研修会講師派遣回数	25	28	38	22	17	-4.3%	III		
	成果 適正表示店舗率(スーパー)	98%	98%	98%	98%	97%	-0.3%	III		
	指標 適正表示店舗率(食料品店)	82%	84%	88%	88%	84%	0.7%	II		
計画の達成状況 [目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]								
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項		
予算額 (単位：千円)		1,992		平成22年度から食品表示ウォッチャーの配置人数を100名に削減 平成23年度に食品表示ウォッチャーによる監視を終了				平成18年4月3日付け農林水産省消費・安全局長通知で、食品表示制度の周知徹底、食品表示ウォッチャーの配置など食品表示の適正化の取組促進について要請あり		
財源内訳	国 庫									
	その他特定財源									
	一般財源	1,992								
[事業の評価]										
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価]				評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し		
	ウォッチャーによる監視や県の指導により、食品表示制度に対する事業者の理解は進んでいる。しかし、依然として、表示率が低い店舗があるとともに、法改正により制度が複雑になったことから、引き続き、適正な食品表示の普及定着に努める必要がある。					<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了		
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他		
	平成23年度からは食品表示ウォッチャーによる監視を食品表示ボランティアによる監視に切り替え、県の調査を継続することで適正表示を推進する。また、事業者に対する研修会の開催や消費者に対する出前講座への講師派遣等を効果的に実施し、制度に対する理解促進を引き続き図っていく必要がある。					見直し額	千 円			

平成 2 2 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )						
事業名		土壤保全対策費	含まれる事業数	3	所 属	農林水産 部	食の安全安心 課	生産環境 G				
福井新元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政 策 [ ]			事 業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> 其 他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 其 他	事 業 始 年 度 54 年度 経過年数 32 年	事業終了 予定年度 一 年度	事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自 治 事 務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
[事業目的]												
土壤等の経年変化や実態等を調査することにより、適切な土壤管理・施肥管理等に資する。												
[事業内容]												
1 モニタリング調査 (1) 土壤管理アンケート調査 (2) 定点土壤の理化学性分析 2 基準点調査 (1) 基準圃における土壤、生育状況等の調査 (2) 傾斜畑における土壤・養分流出量、作物養分吸収量の経年調査 3 土壤由来温室効果ガス計測事業 (1) 農地土壤炭素等の実態調査												
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)												
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等			結果分類	
当初予算額の推移		8,863	13,391	12,356	10,991	11,533	9.3%					
2月現計予算額の推移		8,195	11,728	10,661	10,991	11,070	9.5%					
決算額の推移		8,117	11,666	10,661	10,991		12.7%					
事業効果 の推移	活動 指標	土壤由来温室効果ガス調査地点数	—	—	51	51	53	1.3%				II
	成果 指標	JAS有機および特裁農産物認定面積 (ha)	560	869	1,089	1,269	1,438	27.6%				I
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]										
区 分		平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況				特 記 事 項					
予 算 額 (単位：千円)		11,533	18～19年度に農用地細密調査を実施 19年度から基準点調査をアウトソーシング 20年度から国からの委託を受けて土壤由来温室効果ガス計測事業を実施				全国的に統一して実施する調査であり、全国統計の基となる。					
財源内訳	国 庫	2,350										
	その他特定財源											
	一 般 財 源	9,183										
[事業の評価]												
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 調査の実施により、環境に配慮した農業が推進されている。また、環境に配慮した施肥技術の開発に必要なデータが確実に蓄積されている。				評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し				
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 環境に配慮した農業を推進していくためにも、その基礎となる土壤の実態を把握することは重要であり、今後も継続的な調査が必要である。					<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了				
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 其 他						
				見直し額	千 円							

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )		
事業名		農地・水・環境保全向上対策事業		含まれる事業数		1		
福井新元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 → ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]		所属		農林水産部 食の安全安心 課 生産環境 G <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 19年度 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 事業開始年 経過年数 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他 23年度 事務区分		
[事業目的] 農地や農業用水などの農業基盤や農村環境の良好な保全と質の向上を図るため、地域住民等の多様な主体が参画した地域ぐるみの効果の高い共同活動と化学肥料や化学合成農薬の使用を大幅に低減するなど地域でまとめて環境負荷を低減する高度な営農活動を支援する。								
[事業内容] (1) 営農基礎活動支援 共同で行う環境負荷低減に向けた取組みに対する支援 (技術研修会や先進地調査等の技術研修、技術実証ほの設置等による技術実証、土壌・生物等の調査分析) (2) 先進的営農支援 地域でまとまりをもって化学肥料や農薬を5割以上削減する高度な営農活動に対する支援								
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)								
区分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	
当初予算額の推移			9,935	13,815	15,140	17,268	20.9%	
2月現計予算額の推移			8,934	13,525	15,140	16,385	23.8%	
決算額の推移			8,264	12,350	14,510		33.5%	
事業効果 の推移	活動 指標	営農支援対象面積 (ha)	482	731	846	932	25.9%	
	成果 指標	有機農産物等生産面積 (ha)		1,727	2,379	3,496	123.0%	
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標		年度 [ ] = [ ]		
区分		平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況				特記事項	
予算額 (単位：千円)		17,268	国の制度見直しに伴い、平成23年度から環境保全型農業支援事業に変更					
財源内訳	国庫							
	その他特定財源							
	一般財源		17,268					
[事業の評価]								
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 地域でまとめて環境負荷を低減する高度な営農活動の推進により、地域環境の保全向上、安全で安心できる農産物の生産拡大が図られている。			評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 国が制度を見直して農地・水・環境保全向上対策のうち環境保全型農業支援を切り離すこととしたため、県の制度も併せて見直しを行い、高度な営農活動の取組の着実な拡大を図るとともに、効果的で、将来にわたり継続される活動になるよう助言、指導を行っていく。				<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input checked="" type="checkbox"/> 完 了	
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他			
			見直し額		千 円			

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )						
事業名		有機農産物等認証制度推進事業	含まれる事業数	2	所 属	農林水産 部	食の安全安心 課	生産環境 G			
福井新元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開年 業始年度 12年度 経過年数 11年	事業終了 予定年度 22年度	事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	
[事業目的] 県特別栽培農産物認証制度の運営と当該制度の普及により、化学合成農薬や化学肥料を減らした農産物の生産拡大を図る。											
[事業内容] 1 県推進事業 ・特別栽培農産物認証制度のPR 2 認証運営事業 ・特別栽培農産物認証事業の運営（委託先：（社）福井県植物防疫協会）											
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)											
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等		結果分類	
当初予算額の推移		13,413	13,660	20,749	15,450	14,200	5.0%				
2月現計予算額の推移		13,413	16,217	16,023	14,880	13,598	1.0%				
決算額の推移		13,413	16,200	15,685	14,748		3.9%				
事業効果 の推移	活動 指標	生産登録件数(件)	455	642	686	780	758	14.7%	特別栽培農産物認証制度生産登録件数	I	
	成果 指標	特別栽培農産物栽培面積(ha)	493	805	1,004	1,202	1,371	30.5%		I	
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標		年度 [ ] = [ ]					
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項			
予 算 額 (単位：千円)		14,200		平成16年度に、国の「特別栽培農産物新表示ガイドライン」に準じた制度に改正を行った。 また、平成18年度から、消費者へのPRを強化した。				国においても、環境調和型農業の推進を新たな農業施策の柱として位置づけている。			
財源内訳	国 庫		1,250								
	その他特定財源										
一 般 財 源		12,950									
[事業の評価]											
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 平成19年度から農地・水・環境保全向上対策が実施されたことにより、特別農産物の栽培件数、面積とも大幅に増加し、安全で安心できる農産物の生産が拡大されている。				評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し			
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 環境調和型農業を普及拡大していくため、県特別栽培農産物認証制度を運営してきたが、認証運営委託での取扱件数が大幅に増加している。平成24年度から新しく届出制度に移行することを目指し、今後内容を検討していく。					<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了			
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他				
					見直し額	△ 2,893 千 円					

平成 2 2 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )						
事業名		ふくいのエコ農業推進事業		所 属		農林水産 部		食の安全安心 課		生産環境 G		
福井新元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]		含まれる事業数 3		<input type="checkbox"/> 国 庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> 其 他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 其 他		21 年度 事業終了予定年度 25 年度 事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
[事業目的] 農業や化学肥料を慣行栽培より削減し、自然環境への負荷を軽減する栽培によるエコ農産物のさらなる生産拡大のために、生産から流通・販売、消費者への理解促進に関する施策を着実に推進する。												
[事業内容] 1 有機・特別栽培農業者集団支援事業 … 特別栽培等を実践する農業者の機械等導入への支援および講習会の開催 2 推進体制の整備 … ふくいのエコ農業推進協議会の開催や生産者ネットワーク等を構築 3 販売店対策 … スーパー等において、エコ農産物の認知度向上のためのPRの実施 4 自然豊かな地域づくりの推進 … 小中学校の「野菜カーテン」運動の展開や、環境と生き物に優しい米づくり技術の実証												
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)												
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類
当初予算額の推移					7,500	8,830	17.7%					
2月現計予算額の推移					6,783	8,579	26.5%					
決算額の推移					6,434							
事業効果 の推移	活動 指標	事業採択数			2	3	50.0%					
	成果 指標	エコ農産物認定面積 (ha)			3,496	13,724	292.6%	平成25年度の目標:12,000ha				
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]										
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項				
予算額 (単位：千円)		8,830		22年度から、環境と生き物に優しい米づくり技術の実証を実施				国においても、環境調和型農業の推進を新たな農業施策の柱として位置づけている。				
財源内訳	国 庫											
	その他特定財源											
	一般財源		8,830									
[事業の評価]												
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 特別栽培等を実践する農業者の機械等導入への支援および講習会等を通じて、特別栽培等のエコ農産物認定面積は着実に拡大してきている。また、ふくいのエコ農業者ネットワークでの消費者との交流会や小中学校での野菜カーテン運動等を通じてエコ農業について少しずつ理解されてきている。					評価に基 づく今後 の対応	<input checked="" type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し			
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 今後とも、生産から流通・販売、消費者への理解促進に関する施策を継続しエコ農産物の生産拡大に努めていく。						<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了			
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 其 他			
							見直し額		千 円			

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )						
				所 属	農林水産 部	食の安全安心 課		食料安全 G				
事業名	農業安全対策事業費	含まれる事業数	3	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	59年度 経過年数 37年	事業終了 予定年度	一年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務
福井新元気宣言における 位置付け	<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]											
[事業目的] 農業取扱業者に対する安全使用の指導・啓発および農業管理指導士の認定により、農業の安全使用の徹底を図る。												
[事業内容] 1 農業安全使用講習会の開催 ・農業取扱業者に対する適正販売、安全使用の啓発 2 農業管理指導士の認定・更新研修会の開催 ・農業取扱業者に対する指導者の育成												
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)												
区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類
当初予算額の推移		718	718	718	718	718	0.0%					
2月現計予算額の推移		718	718	718	718	718	0.0%					
決算額の推移		718	718	718	718		0.0%					
事業効果 の推移	活動 農業使用講習会の開催	2	2	2	2	2	0.0%					II
	指標 研修会の開催	2	2	2	2	2	0.0%					II
	成果 講習会参加者数	202	236	238	261	236	4.4%					II
	指標 研修会参加者数	174	222	255	228	223	7.4%					I
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標				年度 [ ] = [ ]				
区 分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項				
予算額 (単位：千円)		718										
財源内訳	国 庫		359									
	その他特定財源											
	一般財源		359									
[事業の評価]												
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 農業取扱業者（農薬販売者等）を対象とした農業安全使用講習会や農業管理指導士研修会の開催を通じ、農薬の適正販売や安全使用を啓発することで、農業使用者の危害防止をはじめ、農薬の安全使用の徹底が図られている。				評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し				
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 農薬の登録や安全対策等に関する最新の情報を農業取扱業者に提供することは農作物の安全性確保にもつながり、また、ポジティブリスト制に対応した生産現場での飛散防止対策等を徹底する必要もあることから、農薬の適正使用を継続して推進していく。					<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了				
						<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他				
						見直し額		千 円				

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )						
事業名		農業適正使用推進事業費	含まれる事業数	所属	農林水産部	食の安全安心課		食料安全 G				
福井新元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 →ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]	1	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開年	15年度 経過年数 8年	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
[事業目的] 農業使用者（農家）に対して適正使用の啓発を行うことにより、農業の適正使用の推進を図る。												
[事業内容] 1 農業適正使用講習会の開催												
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)												
区分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				
当初予算額の推移		341	341	341	341	306	-2.6%	結果分類				
2月現計予算額の推移		341	341	341	341	306	-2.6%					
決算額の推移		341	341	341	341		0.0%					
事業効果 の推移	活動 指標	研修会の開催	7	7	7	7	0.0%	II				
	成果 指標	農業の不適正使用件数	0	0	0	0	0.0%	II				
計画の達成状況		[目標名]		年度整備水準[ ] / 整備目標		年度 [ ] = [ ]						
区分		平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況				特記事項					
予算額 (単位：千円)		306										
財源内訳	国庫		153									
	その他特定財源											
	一般財源		153									
[事業の評価]												
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 農業使用者（農家）に対するブロック別研修会の開催を通じて農業適正使用の指導を行うことにより、農業の適正使用が図られている。				評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し				
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 農業使用者に対して、農業に関する適切な情報を提供し、農業の適正使用についての指導や啓発を図ることは、農産物の安全性を確保し、消費者に安全・安心な農産物を提供する上で不可欠である。ポジティブリスト制に対応した生産現場での飛散防止対策等を徹底する必要があることから、本事業を継続して実施する。					<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了				
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他						
				見直し額	千 円							

平成22年度事務事業カルテ

					会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )							
事業名			所属	農林水産部		食の安全安心		課		食料安全		G		
福井新元氣宣言における位置付け			5	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	25年度 経過年数 61年	事業終了 予定年度 -年度	事務区分 -年度	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
[事業目的] 県下で一般的に作付けされる農作物（普通作物（水稲、ムギ、ダイズ）、野菜、果樹、花き）に発生する病気や害虫の発生量の予測を行い、予測情報を発信することで、生産物の安定生産、品質向上に資する。														
[事業内容] 1 指定有害病害虫、指定外病害虫の発生予察、現地調査の実施 * 指定病害虫：国が指定するその防除に特別な対策を要する農作物の病気や害虫 * 指定外病害虫：県独自に重点的に調査を実施している農作物の病気や害虫 * 発生予察：向こう1か月の病害虫の発生量の予測 2 発生予察情報の提供 * 予報：向こう1か月の病害虫の発生時期および量の予想 * 注意報：特に発生量が多いと予想される病害虫対象に提供する情報 * 警報：発生量が著しく多いと予想される病害虫対象に提供する情報														
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)														
区分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類		
当初予算額の推移		1,692	1,627	1,485	1,436	1,753	1.6%							
2月現計予算額の推移		1,704	1,627	1,485	1,436	1,753	1.4%							
決算額の推移		1,704	1,627	1,485	1,436		-5.5%							
事業効果 の推移	活動 指標	対象病害虫数	209	209	209	209	0.0%					II		
	成果 指標	いもち病(葉)発生面積率(%)	6.7	16.1	5.8	2.4	6.7	49.2%	病害虫防除室調べ				I	
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[ ] / 整備目標 年度[ ] = [ ]												
区分		平成22年度予算額	事業開始後の見直し状況				特記事項							
予算額 (単位：千円)		1,753						病害虫の発生は年次変動が激しく、(本事業を行い)発生予兆を把握することが、病害虫発生未然防止に役立つ。						
財源内訳	国庫		682						※成果指標：自然条件により発生面積の変動が大きく、数値のみの判断は困難					
	その他特定財源													
	一般財源		1,071											
[事業の評価]														
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 病害虫の発生予察を行うことにより、適期防除が図られ、生産物の安定生産・品質向上と環境にやさしい農業の推進が図られている。				評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し						
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 発生予察を実施することにより適期防除が可能になり、また被害の拡大を防ぐことができる。今後も、環境に配慮した農業を推進するためにも本事業を継続的に実施する必要がある。					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他								
				見直し額	千円									

平成22年度事務事業カルテ

				会計区分		<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )						
事業名		農業抵抗性検定事業		所属		農林水産部		食の安全安心課		食料安全 G		
福井新元気宣言における位置付け		<input type="checkbox"/> 有 → ビジョン [ ] <input checked="" type="checkbox"/> 無 政策 [ ]		含まれる事業数 2		<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		52年度 事業終了予定年度 経過年数 1年度 29年		
[事業目的]		同じ農業を繰り返し使用し続けることなどにより、農業抵抗性をもつ病害虫（農業が効かなくなっている病害虫）が発生しており、その抵抗性病害虫の発生実態（どこで抵抗性病害虫が発生しているかまたはどれだけ農業が効かなくなっているか）を把握することにより、今後の防除指導に役立てる。また、水稻について、病害虫の発生状況に合わせて農薬の使用を削減して策定した防除体系を実証する。										
[事業内容]		1 病原菌の農業抵抗性検定 (1) 対象病害：うどんこ病（イチゴ） (2) 検定農薬名：サフロール（トリホリン）、トリフィン（トリフルミダール） 2 害虫の農業抵抗性検定 (1) 対象病害：コナガ（アブラナ科野菜） (2) 検定農薬名：イトウェブ ロックス（トホリン）、ミソミル（ランネット）、ジノテフラン（スタークル） 3 減農薬防除体系実証 農薬の使用を削減した防除体系の現地実証 (1) 対象作物：水稻 (2) 対象病害虫：〔平坦地〕紋枯病、ニカメイガ〔中山間地〕いもち病、本田初期害虫										
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)												
区分		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等			結果分類	
当初予算額の推移		998	917	824	741	1,708	25.6%					
2月現計予算額の推移		998	917	824	741	1,708	25.6%					
決算額の推移		998	917	824	741		-9.4%					
事業効果 の推移	活動指標	検定対象病害虫数	2	2	2	2	0.0%	害虫：1、病気：1			II	
	成果指標	検定済病害虫数	2	2	2	2	0.0%	害虫：1、病気：1			II	
	指標	防除体系の確立（24年度末に4種類）				1						
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準 [ ] / 整備目標 年度 [ ] = [ ]										
区分		平成22年度予算額		事業開始後の見直し状況				特記事項				
予算額（単位：千円）		1708		22年度から農薬の使用を削減した防除体系の現地実証を実施				データは成績書としてまとめられ、農林総合事務所での適正農薬使用の推進（適切な防除指導）に役立っている。				
財源内訳	国庫		854									
	その他特定財源											
	一般財源		854									
[事業の評価]												
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 農作物病害虫の農薬に対する抵抗性発現状況を調査することで、防除薬剤の選定等防除指導や農薬のローテーションの指針に活用されている。						評価に基 づく今後 の対応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し		
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 今後も農業抵抗性害虫が増加することが考えられ、より効率的な防除を推進するためにも事業を継続して実施する必要がある。							<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他		
								見直し額		千 円		